

## ふすまの張り替え

ふすまが汚れてきたけれど、張替えのしかたがよくわからない・・・それに面倒くさそう……。いえいえ、コツさえつかめば、プロに頼まなくても 1日で張替えができます。  
水を含ませ、ノリを戻して張る**再湿タイプ**が主流で種類も豊富ですが、**アイロン張りタイプ**が簡単です。

- ❖ ふすまには、枠をはずせる「本ぶすま」と枠がはずせない「戸ぶすま」があります。
- ❖ 「本ぶすま」は、組子(くみこ)が格子状に組み合わされた昔からのふすまのことで、周囲の枠は折れ合いクギや ねじりクギなどで固定されています。
- ❖ 「戸ぶすま」は、ベニヤ等でできている新しいタイプのふすまで、マンション等によく使われています。
- ❖ ふすま紙には、ノリつきの再湿タイプと スチームアイロンを使う手軽なアイロンタイプがあります。初めて張替えに挑戦するなら、アイロンタイプ、本格派の仕上がりを目指すなら、再湿タイプがおすすめです。アイロンタイプは 戸ぶすまの張替えにも適しています。

### ❖ アイロンタイプのふすまの張り方

スチーム式のアイロンを使用して張ります。

### ★きれいに張るポイント

- ❖ アイロンの設定温度を高温(スチーム)にすること。
- ❖ アイロンの底の汚れをあらかじめ きれいに落としておくこと。
- ❖ アイロンを動かす速度も注意しましょう。ふすまの幅の短いほうの端から端までを進むのに10秒程度、が目安です。
- ❖ 力を入れすぎると ふすま紙がシワになってしまうので、アイロンは軽くかけます。
- ❖ 四隅の部分は、アイロンがかかりにくいので、念入りにアイロンで押さえ、圧着させます。当て残しがないように、仕上げのアイロンがけも丁寧に行いましょう。

### ❖ 用意するもの

(1)木づち または カナヅチ(2)マスキングテープ(3)ふすま紙(4)アイロン(5)ハサミ(6)カッティングメジャー(7)カッターナイフ(8)引き手用クギ打ち(9)インテリアパール

1



インテリアパールを 引き手の縁に差し込み、引き手ははずします。枠に ふすま紙が張りつかないようにマスキングテープを貼ります。古いふすま紙に穴があいている場合は、その上から新しいふすま紙を貼るので、補修します。



やぶれたところをめくって、ハガキくらいの厚さの紙(ケント紙や画用紙など)を差し込むと簡単に補修できます。

2



ふすま紙を広げて位置を決め、高温スチームに設定したアイロンで、上部の隅の近くをとめます。S字を書くように ゆっくりと全体にアイロンをかけましょう。

3



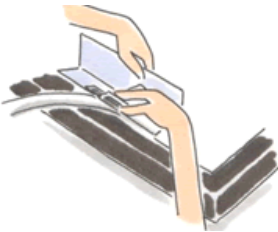
アイロンの先の部分を使って 枠の内側に沿って折り目をつけます。アイロンの先を支点に ふすま紙のへりを持ち上げながら アイロンを引くとうまくいきます。

4



ふすまの隅は、アイロンがかかりにくいので ふすま紙の角をハサミで直角に切り、折りやすくしておくといでしょう。隅は はがれやすいので特に念入りに圧着すること。

5



枠の内側に カuttingメジャーを当て、周囲のふすま紙をカッターで切り落とします。カッターナイフは、垂直にならないようにメジャー側にねかせること。

6



全体に丁寧なアイロンをかけ、仕上げをします。引き手の部分に カッターナイフで十字に切り込みを入れ、枠に貼ったマスキングテープをはがします。

7



切り込みに 引き手をはめ込み、上下のクギを押し込みます。クギ打ちか引き手のクギよりも大きなクギで、はずしたクギを打ち込み、引き手を固定します。